

# 関西学院大学大学院 2023年度 第1次 社会学研究科 入学試験問題

	試験科目 社会学専攻	専門科目
試験時間	90分	辞書の使用は認めない 1 / 1

解答は、別紙に記入すること。

I. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 社会学における量的調査と質的調査のメリットとデメリットを比較検討した上で、具体的に現代における労働の実態を明らかにするための調査計画を立てなさい。【社会学】
- B. マックス・ウェーバー (Max Weber) とエミール・デュルケム (Émile Durkheim) を比較しながら、両者の社会学の方法について説明しなさい。【社会学】
- C. 「複数現場のエスノグラフィ」 (multi-sited ethnography) という方法が有効なものとして提起されるようになった文脈について論じなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. Aさんは卒業論文において「テレビを視聴すると、日本維新の会に投票するようになる」という仮説を検証するため、2022年の参院選直後に自身のTwitterのフォロワー (137名) を対象とした調査を行い、98名から回答を得た。そして、テレビの視聴頻度 (1=毎日または、ほぼ毎日、2=週に4~5日程度、3=週に2~3日程度、4=週に1日以下、5=まったく見ない) と日本維新の会に対する好き嫌い (1=とても好き、2=やや好き、3=どちらともいえない、4=あまり好きではない、5=まったく好きではない) の相関係数を求めた。この研究の方法論上の問題点を思いつく限り述べなさい。なお、仮説自体が妥当であるかではなく、あくまで仮説を検証する上での手続きについて議論を行うこと。【社会心理学】

II. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 日本において、なぜ少子高齢化が進行しているのかについて説明し、少子高齢化が社会にもたらす影響について社会学的に論じなさい。【社会学】
- B. AIが現在そして未来の社会にもたらす影響について社会学的に論じなさい。【社会学】
- C. エスニシティ研究における原初主義 (本質主義) と道具主義 (構築主義) との間の論争について解説した上で、エスニシティ研究の展望について論じなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. 人間はどのような他者に好意を抱くのか、またそれはなぜかについて、社会心理学に基づいて、説明しなさい。【社会心理学】

III. 次の用語の中から4つを選んで説明しなさい。(10点×4)

- 1. 重要な他者 (significant other) 【社会学】
- 2. 社会階層と社会階級 (social stratification and social class) 【社会学】
- 3. 福祉レジーム (welfare regime) 【社会学】
- 4. 社会関係資本 (social capital) 【社会学・社会心理学】
- 5. 日本的雇用慣行 (Japanese employment practices) 【社会学】
- 6. ホモソーシャルリティ (homosociality) 【文化人類学・民俗学】 【社会学】
- 7. マーガレット・ミード著『サモアの思春期』 (Margaret Mead, *Coming of Age in Samoa*) 【文化人類学・民俗学】
- 8. トーテミズム (totemism) 【文化人類学・民俗学】
- 9. マルチスピーシーズ・エスノグラフィ (multispecies ethnography) 【文化人類学・民俗学】
- 10. セルフ・オリエンタリズム (self-Orientalism) 【文化人類学・民俗学】
- 11. 限定合理性 (bounded rationality) 【社会心理学】 【社会学】
- 12. 生態学的妥当性 (ecological validity) 【社会心理学】
- 13. 情動 (emotion) と気分 (mood) 【社会心理学】
- 14. 名誉の文化 (culture of honor) 【社会心理学】
- 15. ステレオタイプ内容モデル (stereotype content model) 【社会心理学】

※ 【社会学】 【文化人類学・民俗学】 【社会心理学】 は出題分野を表しています。

2022.09